



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月3日

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所 東  
コード番号 9845 URL <https://www.parkercorp.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 嘉重  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務本部長 (氏名) 橋本 一徳 TEL 03-5644-0600  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	50,919	△1.2	3,464	△5.1	3,519	△10.0	2,420	△13.5
2024年3月期第3四半期	51,540	19.2	3,650	30.0	3,909	30.2	2,798	41.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,160百万円 (△40.3%) 2024年3月期第3四半期 5,292百万円 (18.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	96.76	—
2024年3月期第3四半期	111.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	70,294	46,783	62.5
2024年3月期	69,395	44,331	59.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 43,939百万円 2024年3月期 41,558百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
2025年3月期	—	12.50	—		
2025年3月期（予想）				12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,000	9.3	4,200	△7.8	4,400	△12.4	3,100	△13.9	123.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	26,801,452株	2024年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	1,778,841株	2024年3月期	1,786,589株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	25,019,508株	2024年3月期3Q	25,012,907株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状況の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢・所得環境の改善やインバウンド需要と企業の設備投資の増加等の要因により、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに回復しています。一方で、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇、世界情勢の緊迫化等、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主力の取引先である自動車業界は、認証不正問題からの出荷停止解除に伴う生産再開により持ち直しておりますが、中国市場での不振、原材料価格の高騰や需要の変動など、厳しい状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は50,919百万円（前年同期比1.2%減）、営業利益は3,464百万円（同5.1%減）、経常利益は3,519百万円（同10.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,420百万円（同13.5%減）となりました。

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	51,540	50,919	△621	△1.2
営業利益	3,650	3,464	△186	△5.1
経常利益	3,909	3,519	△390	△10.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,798	2,420	△377	△13.5

セグメントごとの経営成績につきましては、次のとおりであります。

## ・機械部門

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	1,878	1,809	△69	△3.7
営業利益	56	100	43	76.5

国内の食品機械輸入販売と自動車業界向け設備販売は堅調に推移しました。また、収益は経費削減効果等により増益となりました。

当部門の売上高は1,809百万円（同3.7%減）、営業利益100百万円（同76.5%増）となりました。

## ・化成品部門

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	23,038	23,392	353	1.5
営業利益	1,137	955	△182	△16.0

自動車業界向けの製造販売は、前第3四半期連結累計期間に取得した連結会社の製造販売が当連結会計年度の期首から寄与したことにより売上は増収となりましたが、北米・中国市場の不振や原材料価格の高騰の影響を受け減益となりました。

当部門の売上高は23,392百万円（同1.5%増）、営業利益は955百万円（同16.0%減）となりました。

## ・化学品部門

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	5,060	4,913	△147	△2.9
営業利益	215	328	113	52.5

国内外市場向けの一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売は堅調に推移しました。前第3四半期連結累計期間にありました大型設備販売がなくなったことにより減収となりましたが、海外向けの輸出が増加したこと等により増益となりました。

当部門の売上高は4,913百万円（同2.9%減）、営業利益は328百万円（同52.5%増）となりました。

## ・産業用素材部門

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	14,053	13,320	△733	△5.2
営業利益	1,434	1,256	△177	△12.4

自動車用防音材の製造販売は、生産停止の解除を受けて持ち直しましたが、家電用防音材の製造販売は、海外における販売不振の影響により減収減益となりました。

当部門の売上高は13,320百万円(同5.2%減)、営業利益は1,256百万円(同12.4%減)となりました。

## ・化工品部門

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	5,050	5,069	19	0.4
営業利益	640	657	16	2.5

国内カーケアケミカル及び海外電子産業用ファインケミカルの製造販売は、堅調に推移し増収増益となりました。

当部門の売上高は5,069百万円(同0.4%増)、営業利益は657百万円(同2.5%増)となりました。

## ・その他部門

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前期比(%)
売上高	2,458	2,415	△43	△1.8
営業利益	165	165	0	0.1

その他部門は主に化学原料の輸出入が減少しましたが、収益は改善効果により前年と同水準となりました。

当部門の売上高は2,415百万円(同1.8%減)、営業利益は165百万円(同0.1%増)となりました。

## (2) 当四半期の財政状況の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産合計は、前連結会計年度末と比べ898百万円増加し、70,294百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加(1,402百万円)、投資有価証券の増加(321百万円)がありましたが、原材料及び貯蔵品の減少(634百万円)、流動資産のその他の減少(292百万円)によるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比べ1,553百万円減少し、23,511百万円となりました。主な要因は、流動負債のその他の増加(434百万円)がありましたが、支払手形及び買掛金の減少(1,092百万円)、未払法人税等の減少(274百万円)、賞与引当金の減少(318百万円)、流動負債および固定負債のリース債務の減少(250百万円)によるものです。

純資産合計は前連結会計年度末と比べ2,451百万円増加し、46,783百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(1,832百万円)、為替換算調整勘定の増加(323百万円)によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画(2024年5月9日付決算短信)に修正はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,944	20,346
受取手形及び売掛金	15,492	15,662
商品及び製品	4,945	4,830
仕掛品	573	558
原材料及び貯蔵品	3,337	2,703
その他	3,197	2,904
貸倒引当金	△89	△57
流動資産合計	46,400	46,948
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,352	12,208
減価償却累計額	△7,734	△7,969
建物及び構築物(純額)	3,617	4,239
機械装置及び運搬具	11,061	11,376
減価償却累計額	△9,349	△9,648
機械装置及び運搬具(純額)	1,711	1,727
土地	7,311	7,241
リース資産	2,270	2,099
減価償却累計額	△1,323	△1,351
リース資産(純額)	947	747
建設仮勘定	674	413
その他	4,777	5,063
減価償却累計額	△4,123	△4,341
その他(純額)	654	722
有形固定資産合計	14,916	15,090
無形固定資産		
のれん	207	129
借地権	178	179
その他	206	186
無形固定資産合計	592	495
投資その他の資産		
投資有価証券	5,423	5,744
長期貸付金	245	240
繰延税金資産	195	184
その他	1,708	1,676
貸倒引当金	△85	△85
投資その他の資産合計	7,486	7,759
固定資産合計	22,994	23,345
資産合計	69,395	70,294

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,752	9,660
短期借入金	2,342	2,342
1年内返済予定の長期借入金	266	432
リース債務	412	356
未払法人税等	814	540
賞与引当金	949	631
その他	2,761	3,195
流動負債合計	18,299	17,159
固定負債		
長期借入金	1,850	1,528
リース債務	880	685
繰延税金負債	1,755	1,853
役員退職慰労引当金	136	139
退職給付に係る負債	2,019	2,039
資産除去債務	32	32
その他	89	72
固定負債合計	6,764	6,351
負債合計	25,064	23,511
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,201	2,201
資本剰余金	2,518	2,543
利益剰余金	31,521	33,354
自己株式	△649	△646
株主資本合計	35,591	37,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,617	2,810
繰延ヘッジ損益	△0	2
為替換算調整勘定	3,350	3,673
その他の包括利益累計額合計	5,966	6,486
非支配株主持分	2,773	2,844
純資産合計	44,331	46,783
負債純資産合計	69,395	70,294

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	51,540	50,919
売上原価	39,109	38,000
売上総利益	12,431	12,919
販売費及び一般管理費	8,780	9,455
営業利益	3,650	3,464
営業外収益		
受取利息	87	107
受取配当金	123	123
為替差益	41	—
持分法による投資利益	46	27
その他	128	220
営業外収益合計	427	479
営業外費用		
支払利息	89	53
為替差損	—	318
税額控除外源泉税	36	5
その他	42	46
営業外費用合計	168	424
経常利益	3,909	3,519
特別利益		
固定資産売却益	10	5
負ののれん発生益	834	—
特別利益合計	844	5
特別損失		
固定資産売却損	0	1
固定資産除却損	1	12
減損損失	672	—
特別損失合計	673	13
税金等調整前四半期純利益	4,080	3,510
法人税等	1,052	948
四半期純利益	3,028	2,561
非支配株主に帰属する四半期純利益	229	140
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,798	2,420



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,028	2,561
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	310	110
繰延ヘッジ損益	40	3
為替換算調整勘定	1,769	378
持分法適用会社に対する持分相当額	143	105
その他の包括利益合計	2,264	598
四半期包括利益	5,292	3,160
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,914	2,940
非支配株主に係る四半期包括利益	378	219

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用し、繰延税金資産の回収可能性を検討のうえ計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,446百万円	1,365百万円
のれんの償却額	77 "	77 "

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	1,562	9,908	3,849	8,182	4,270	27,773	1,582	29,356	—	29,356
海外	316	13,130	1,210	5,870	779	21,308	876	22,184	—	22,184
顧客との契約から生じる収益	1,878	23,038	5,060	14,053	5,050	49,082	2,458	51,540	—	51,540
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	1,878	23,038	5,060	14,053	5,050	49,082	2,458	51,540	—	51,540
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	71	60	8	1	164	830	995	△995	—
計	1,901	23,109	5,120	14,062	5,052	49,246	3,289	52,536	△995	51,540
セグメント利益	56	1,137	215	1,434	640	3,485	165	3,650	—	3,650

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「化成品部門」セグメントにおいて中国子会社の主に自動車用材料製造設備が、経営環境の悪化により収益性が低下したことにより、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額であるゼロまで減額したことにより特別損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては672百万円であります。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
国内	1,682	9,548	3,763	8,378	4,160	27,533	1,648	29,182	—	29,182
海外	127	13,843	1,149	4,941	909	20,971	766	21,737	—	21,737
顧客との契約から生じる収益	1,809	23,392	4,913	13,320	5,069	48,504	2,415	50,919	—	50,919
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
売上高										
外部顧客への売上高	1,809	23,392	4,913	13,320	5,069	48,504	2,415	50,919	—	50,919
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	92	59	6	0	184	788	973	△973	—
計	1,835	23,485	4,972	13,326	5,069	48,689	3,203	51,893	△973	50,919
セグメント利益	100	955	328	1,256	657	3,298	165	3,464	—	3,464

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品、建設資材を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。